

CSRの観点からの健康増進活動の促進に関する関係者ニーズの現状

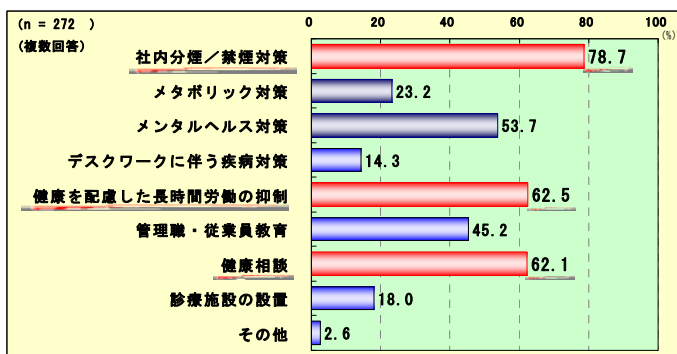
～ 「健康会計」等に関するアンケート調査結果とその考察 ～

小林 正、朝倉 晋、吉本 明憲、河野 敏鑑(株式会社 富士通総研)

- ◆企業における健康増進活動の現状と活動に関する費用・効果等を把握することを目的に、東証一部上場企業(1,718社)を対象にアンケートを実施(実施期間2008年1月28日～2008年2月15日)
- ◆有効回答数 272社(回収率:15.8%)

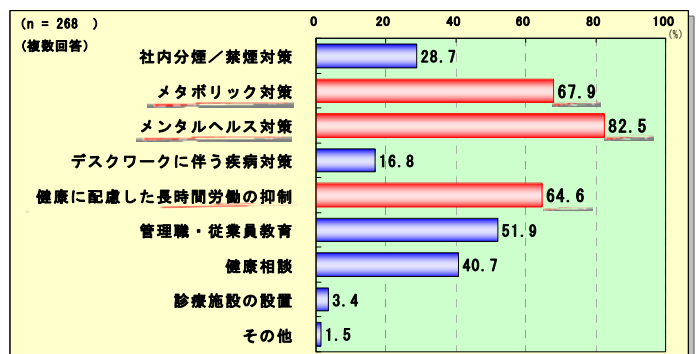
■現在の従業員に対する健康増進活動の取り組み状況

- ・約8割の企業が「社内分煙/禁煙対策」を全社的に実施
- ・「健康に配慮した長時間労働の抑制」と「健康診断」の取り組みが高い。「メタボリック対策」は2割強に留まる。



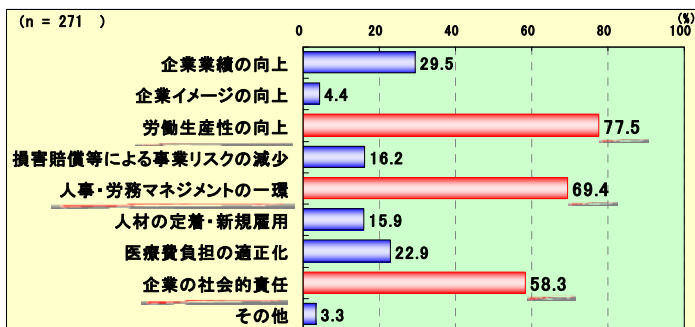
■今後、充実を図る従業員に対する健康増進活動

- ・全体の8割強の企業が「メンタルヘルス対策」を充実
- ・次いで、「メタボリック対策」、「健康に配慮した長時間労働の抑制」の充実が高い。



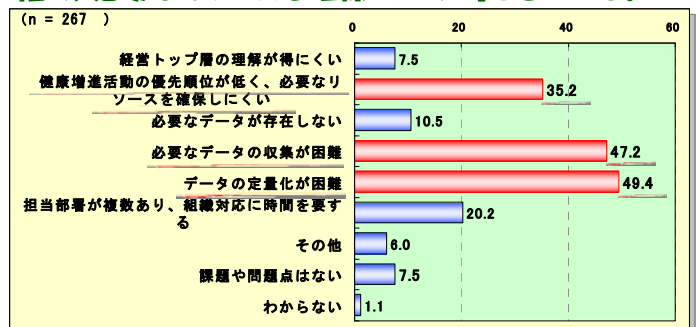
■企業における従業員に対する健康増進活動の意義

- ・「労働生産性の向上」が全体の約8割弱と最も高い。
- ・次いで「人事・労務マネジメントの一環」、「企業の社会的責任」となっている。



■健康増進活動の費用・投資、効果把握の課題や問題点

- ・全体の9割強の企業が、課題や問題点があると認識。
- ・主たる課題や問題点は、「データの定量化が困難」、「必要なデータの収集が困難」、「健康増進活動の優先順位が低く、必要なリソースを確保しにくい」ことにある。



アンケート調査結果のまとめ

【企業における健康増進活動の取り組み状況】

- ・「社内分煙/禁煙対策」について、積極的な取り組みを実施
- ・従業員の「心」と「体」の健康に対する取り組みにも精力的

【今後の健康増進活動の取り組み】

- ・「メンタルヘルス対策」、「メタボリック対策」、「健康に配慮した長時間労働の抑制」の取り組みを充実
- ・「心」と「体」の健康に対する取り組みがさらに加速

【健康増進活動の費用や効果の把握】

- ・健康増進活動の費用や効果把握の取り組み意識が高い
- ・しかし、基盤の整備と定量化のための指標づくりが必要

健康会計って何？

企業(及び保険者)がCSR活動の観点から健康資本増進活動の「費用」と「効果」を可視化するための健康情報ツールを「健康会計」と呼びます。

「健康会計」は、平成19年度経済産業省委託事業である「健康資本増進グランドデザインに関する研究会」で検討が開始されました。

その後、政府の「産業構造審議会基本政策部会報告書」(平成19年10月)、「新健康フロンティア戦略アクションプラン」(平成19年12月28日決定)に「健康会計」の検討、研究が盛り込まれました。

詳しくは、[経済産業省HP](http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/kenkou_kaikei/index.html)をご覧ください！！

URL:http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/kenkou_kaikei/index.html